

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		6-	6
事業名	ごみ処理施設維持管理経費	会計	款	項	目
		一般	4	2	1
施策	4 快適なまち	課名	環境防災課		
	4-1 環境と共生するまちをつくる	係名	環境資源係		
	4-1-1 循環型社会の形成				
主要施策	①ごみ収集・処理体制の充実		②ごみ減量化の啓発と推進		

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	住民がごみの適正排出、分別の徹底を行い効率的で衛生的なごみ収集を行うことができています。
事業内容	住民がいつでも排出できる環境を整備し、効率的で衛生的なごみの排出を行うため、最終処分場及び、資源ごみストックヤード施設の維持管理に努めた。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					6,398		6,398	8,240	
財源内訳	直接事業費 A				6,398		6,368	6,920	
	うち一般財源				6,398		6,368	6,920	
人件費(千円) B					0		0	1,320	
内訳	一般職員(人・千円)				0		0	0.2	1320
	臨時職員(人・千円)				0		0		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善(事業は継続するが、更なる改善が必要)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	最終処分場の延命化を図るための、対策を検討する必要がある。
②H30年度に実施した取り組み	施設利用者への適切な分別案内。	④今後の改善計画	最終処分場を有料化することで施設寿命を延ばしていく。